

一般質問



西本 貴子 議員 (無所属)

区政運営について

- ①品川区総合戦略とは何か。
- ②一億総活躍プランについて
- ③国の目標値に対する区のギャップをどのように埋めるのか。
- ④区の長期基本計画等の影響は。
- ⑤消費税10%増税の先延ばしは、区に与える財政的影響は。
- ⑥品川区はここ10年で人口増が見込まれるが、どう区政運営していくのか。
- ⑦行政ニーズの多様化に対応するためには、民間活力活用

子育て支援について

- ①保育事業財政について
- ②財政負担の推移は。
- ③今後の動向は。
- ④民営化による財政目標は。
- ⑤保育園の民営化について
- ⑥保育の質は担保されるのか。
- ⑦財政負担のみを理由とした保育園民営化は見直しを。
- ⑧すまいるスクールについて
- ⑨教育委員会から子ども未来部に移管した目的は。
- ⑩学校現場との情報共有はどうしているのか。
- ⑪時間延長に伴う利用状況の変化は。
- ⑫時間延長に対する保護者の意見は。
- ⑬職員体制について改善を。
- ⑭職員の新規採用を。

子ども未来部長

- ①平成22年度から6年間で約60億円の歳出増だ。
- ②当面事業費は上昇する。
- ③1園当たり約3千万円の国・都の負担金を事業費に充てることを見込んで
- ④民営化後は立入検査等を通じ、チェック機能を果たしていく。
- ⑤10年で概ね5園の民営化を計画するもので、ビジョン等を変える考えはない。
- ⑥効果的な施策運営等を図ることだ。
- ⑦職員会議で情報共有し指導に活かしている。
- ⑧大きな変化は見られない。
- ⑨朝8時15分からの利用は助かる等の意見をいただいている。
- ⑩2名以上の委託職員が常駐し、緊急時に対応できる体制としている。
- ⑪福祉職全体の配置計画のもとで採用選考を実施している。

環境対策について

- ①区施設のLED対策について
- ②具体的な計画は。
- ③技術

術革新にも柔軟に対応する必要があるのでは。

- ④区民等への啓発を。
- ⑤環境対策で一番遅れているのは水対策だと思
- ⑥うが、節水・節湯に対する区
- ⑦の考えを構築し、対策を推進
- ⑧しては。
- ⑨低炭素化社会の推進を環境計画に反映させては
- ⑩都市環境部長
- ⑪ア庁舎で
- ⑫先行的に実施し、他の区有施設にも順次LED化を進める。
- ⑬様々な角度から研究していく。
- ⑭わかりやすい啓発に努める。
- ⑮新たな技術や情報に注視し、研究していく。
- ⑯環境計画に低炭素社会の実現等の取り組みを位置づけていく。

オリンピック・パラリンピックに向けた商店街の活性化について

- ①東京オリンピック・パラリンピックに向け、商店街へのWi-Fi導入とアプリの開発を検討しては。
- ②地域振興部長
- ③都市型観光プラン等との整合を図りつつ、各商店街などのご意見も伺いながら検討していく。

防災対策について

- ①熊本地震の被害から、品川区の震災対策の見直しを図る必要があると考えますが、見解は。
- ②今後も復興支援を継続するの。
- ③区職員の訓練や各避難所訓練に、避難所での対応を模擬体験する避難所運営ゲームを取り入れては。
- ④災害対策担当部長
- ⑤課題を分析し、今後の防災対策に反映していく。
- ⑥被災自治体の要請に応じ、積極的に支援を進める。
- ⑦検討していく。



石田 秀男 議員 (自・末)

まちづくりについて

- ①品川駅南地域について
- ②京急連続立体交差事業も含め、決定してから結果を伝えるのではなく、十分検討ができる時期に地域に対して説明を。
- ③区のリーダーシップでまちづくりの具体案を提案しては。
- ④広町地区について
- ⑤JR東日本との協議状況は。
- ⑥東急を含めて再開発するべきでは。
- ⑦区役所の建てかえ計画を開発に合わせて発表するべきでは。
- ⑧八潮地区について
- ⑨八潮団地では急速な高齢化が進行しているが、どのように検討していくのか。
- ⑩新線計画において、将来を考えて駅をつくるべきでは。
- ⑪大井競馬場について
- ⑫利用者を増やすため、開催時間を2時間延長しては。
- ⑬競馬場を様々な目的で利用するため、厩舎を移転しては。
- ⑭舟運など水辺の活用について、区の考えは。
- ⑮品川・大田間を利用し、カヌー大会等を開催しては。
- ⑯区長
- ⑰少しでも早い時期に地域へ情報提供したいと考えている。
- ⑱必要なリーダーシップをとり、新たなにぎわいの創出等について、地域とともに検討していく。
- ⑲本格的な工事は東京オリンピック・パラリンピック後の着工をめざして検討中だと聞いて
- ⑳東急電鉄との連携も大切だと考えている。
- ㉑庁

総務部長

- ①7集客増は見込めるが時間延長によるレイ
- ②ス数の増は難しく、人件費や運営経費等を考えると、大幅な収入増は見込めないとのことだ。
- ③膨大な経費を要するため慎重に考える必要がある。
- ④防災まちづくり部長
- ⑤運河や河川等の水辺を貴重な資源と位置付け、積極的に利活用を進めていく。
- ⑥現在Eポ
- ⑦ートリレー等を開催しており、今後も大田区と連携して水辺の利活用に取り組んでいく。

スポーツについて

- ①総合型地域スポーツクラブの育成が生涯スポーツの推進の中核と位置づけられているが、区の現状等は。
- ②今後、既存の競技団体や商業スポーツ団体等が連携をとるために、総合型地域スポーツクラブの役割が重要になるのでは。
- ③ジュニアアカデミーの立ち上げを。
- ④天王洲公園の改修の際に、管理事務所を多目的利用が可能な施設にしては。
- ⑤

大井ふ頭中央海浜公園等にスケボーパークの整備を。

- ①文化スポーツ振興部長
- ②住民の自主運営による地域スポーツクラブの設置充実に努めており、今後も拡充していく。
- ③既に荏原B地域スポーツクラブで協働事業を展開している。今後人的資源の有効活用を図っていく。
- ④スポーツ協会と検討していく。
- ⑤公園改修の実施設設計を進めており、ブライインドサッカーの国際大会開催も視野に入れて検討していく。
- ⑥スケートボード競技が東京オリンピックの追加種目として正式決定された後、大井ふ頭中央海浜公園での開催を要望していく。

人材確保について

- ①保育士不足解消のため家

賃助成等を行っているが、現状等は。

- ②保育園と保育専門学校を併設した複合施設をつくれな
- ③国は2025年には約37万7千人の介護人材が不足すると推計しているが、地方では介護需要の充足率が高い。十分なサービスを受けるために住みなれた土地を離れる選択もしなければなら
- ④ないのでは。
- ⑤介護人材の不足を地域で支えるため、す
- ⑥けつと品川養成講座の拡大を。
- ⑦福祉部長
- ⑧宿舎借り上げ支援などに取り組み、27年度は79人が宿舎を利用した。
- ⑨今後の研究課題とする。
- ⑩区に
- ⑪住み続けたいという期待に応えるため、地域包括ケアシステムの構築と推進を重点課題として取り組んでいる。
- ⑫介護の裾野を広げる取り組みとなるよう発展させていく。



大崎第一地区区民まつり (第三日野小学校)